

## 実りの秋が好き



9月初旬、爽やかな秋晴れ。スーパーカブで近所を走ると、稲刈りあとの藁のいい香り。鷺(さぎ)と烏(からす)も実りのおこぼれをついばんでいます。

稲藁の香りがかぐと、子どもの頃を思い出します。稲刈りはいまと違ってすべて手作業、鎌をもって家族親戚総出で行い、刈り取った稲はすぐに田んぼに立てた稲竿にハザ掛けにして天日干しにします。

子どものころの稲刈り、ハザ掛け、稲藁の香りの記憶は、体に染みこんだ天地の恵みそのものです。



## 梅池高原～白馬大池

毎年の夏、2泊3日の山歩きをします。今年はお盆前に、梅池高原～白馬大池に行ってきました。梅池高原ホテルを7時に出発、ゴンドラとロープウエーを乗り継ぎ8時に登山口着。1時間余の上りが続いて天狗平着、別天地です。岩を上り2箇所雪渓を一步づつ歩き、11時に山頂に着きました。結構きつい登りでしたが、きれいな空気とお花に、心身がリフレッシュされました。



## 白子地区地震防災訓練

白子地区地震防災訓練が9月24日に白子中学校で行われ、避難訓練、避難所開設訓練、防災啓発イベントなどが行われました。災害にそなえての訓練は大事です。

市内の多くの協賛企業も参加していますが、(株)トモ様のキッチンカーには感謝です。東日本災害後、社会貢献として何かできるか考えてこのクルマを作っそうです。



■ブログ記事を中心に編集しています。皆様のご意見・感想をお寄せ下さい。

■日々の活動は、HP、ブログ、facebookをご覧ください。

「はしづめ圭一」で検索して下さい。



メール



HP



ブログ



発行：鈴鹿市議会議員 橋詰 圭一【日本共産党】

No.10 2017年10月号

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1

電話・FAX 059-386-8561

携帯 090 6577 3617

ホームページ [はしづめ圭一] 検索



## 生活保護基準以下で暮らす市民に行政の手を

9月議会一般質問で「生活保護行政について」一般質問を行いました。その中で解ったこと、主張したことの一部を紹介します。  
①生活保護行政について、多くの問題がありますが、本来生活保護を利用できる人たちが、利用していないことが一番の問題です。日本弁護士連合会が作成したパンフをもとに生活保護の利用率について問いました。〈表1〉

②鈴鹿市での保護利用世帯は、H28年3月末で824世帯、その内訳は、高齢者世帯が約55%、傷病・障がい者世帯が32%、母子家庭その他が13%ということで、全国平均に比べて、高齢者世帯と、傷病・障がい者世帯が多く、母子家庭その他が少ないという特徴があります。

③保護の基準となる基準額について、4つのモデルケースについて聞きました。〈表2〉この基準額より収入が少なく、預金などの資産がその半分以下であれば、基本的に誰でも生活保護の申請ができます。

その際、保護課窓口で「保護を申請しま

### 〈表1〉利用率・補足率の比較(2010年)

	日本	ドイツ	フランス	イギリス
人口	1億2700万人	8177万人	6503万人	6200万人
生活保護利用者数	199万8957人	793万5000人	372万人	574万4640人
利用率	1.6%	9.7%	5.7%	9.27%
補足率	15.3~18%	64.6%	91.6%	47から90%

日本弁護士連合会2012年発行パンフ、あけび書房「生活保護改革ここが焦点だ!」より

### 〈表2〉生活扶助の基準額

母子世帯 (32才、9才、4才)	約17万3千円
夫婦4人世帯 (40才、35才、7才、5才)	約17万3千円
高齢者単身世帯 (70才)	約6万3千円
高齢者夫婦世帯 (70才、68才)	約9万7千円

※住居費補助上限額は、1人世帯33,400円、2人世帯40,000円、3人以上世帯は43,400円

す」とはっきり言うことが大事です。そうでないと「相談扱い」にされる事例が多くあります。お年寄りの中でも、子育て世代の中でも、貧困が広がっています。持ち家がある、年金がある、生命保険がある、車にのっている、若い、などの理由で、保護を受けることができないと思いこんでいる人たちが、思った以上に多くいます。

④「生活保護のしおり」の改善、ホームページの改善、広く市民への広報をすすめて、生活保護基準以下の、ぎりぎりの生活をしている市民に、行政の手をさしのべることを求めました。〈2面に続く〉



## 生活保護制度の利用は国民の当然の権利

<1面から続き> ⑤生活保護は、国からの法定受託事務です。鈴鹿市の生活保護関連予算は年間約20億円ですが、国庫補助金と地方交付税でおおむねカバーされています。生活保護の利用者が減っても増えても、市の財政負担には、ほとんど影響しま

せん。生活保護費はむしろ、国からお金が来て消費に回ることによって、地域経済にプラスになっているという見方もあります。

鈴鹿市は、「生活保護制度の利用は国民の当然の権利であるとともに最後のセーフティネットであると認識して職務にあたっている」とのことでした。ぜひこの認識で、市民に寄りそった生活保護行政への充実と改善を求めていきたいと思えます。

## 岐阜県輪之内町のデマンドバスを見学

岐阜県輪之内町のデマンドバスを見学して来ました。輪之内町は、人口1万人弱、面積22km<sup>2</sup>の小さな町で、田園風景のなかに集落が点在しています。公共交通の維持と利便性の向上は町民の願いであり、行政の重要課題と位置づけられています。

これまで名阪近鉄バスに委託し運行していた2路線の100円バス。町の中心を南北に走り安八温泉まで運行する南北線と、中心部より岐阜羽島駅を結ぶ輪之内羽島線の2路線。コミュニティバス的な位置づけで町が3千万円弱の財政支出をして運行していましたが、朝夕の通勤通学時間は乗客も多いが、昼間はガラガラで空気バスと呼ばれていたそうです。

これではいかんと、3ヶ月間の試行期間を経て、2015年1月より、平日の朝8時半から夕方4時半は路線バスの運行を止めて、デマンドバスを2台運行しています。乗客8人乗り、1乗車200円ですが、高齢者や障がい者、小学生は100円で乗れます(もっとお得な回数券や定期券もあり)。バス乗り場は町内約150カ所で、1日約40名の利用、夏休みは小中学生の利用が増えて1日約50名の利用と、町民に親しま

れながら、利用人数も徐々に増えているようです。

運行は、路線バス同様に名阪近鉄バスに委託しています。路線バスだけの時より利用者は増えていますが、町の財政負担はほとんど変わらないとのこと。

デマンドバスは電話予約により運行しますが、予約は利用の3日前から1時間前まで。東京大学のコンピニクル・システムを使っており、電話予約のオペレーターは、保健センター事務所の一角にパソコン1台とオペレーター1人で対応していました。

輪之内町のデマンドバスを鈴鹿にあてはめると考えると、運輸事業者に運行委託して市内に10サークルとして約3億円弱という経費は、結構ハードルが高いですね。玉城町のような福祉目的の自主運行バスが、市民の足として現実的で、財政面、健康面での効果も期待できるのではないかと、改めて思いました。



## 総務委員会の行政視察

7月31日から、3日間の総務委員会の行政視察。1日目は富士市で「事前復興計画」について学ぶ。

復旧は被災した施設などを被災前の状態に戻すことで、防災危機管理課が中心に行う。復興は被災前の状態と比較して、「安全性の向上」「生活環境の向上」など、再び災害が起こっても、同じような被害が発生しないために、今後の都市づくりの考え方や諸施策と整合性を図るために都市計画課が中心にすすめている。

感心したのは「復興まちづくり訓練」で、自分たちのまちが被災したら、どのような被害が発生し、復興をどうすすめるかについて、発生前から市民・事業者・行政が共同で考える取り組み、復興を疑似体験する訓練を行っていること。

2日目は、千葉県佐倉市役所で「ファシリティマネジメント(FM)」を学ぶ。ファシリティとは施設とその環境。行政が持つ土

地、建物、構築物、設備等を、経営的視点で最適な状態(コスト最小、効果最大)で保有し、運営し、維持するための総合的な管理手法。2007年から導入を図り、いま全国から視察が相次いでいる。

3日目は、神奈川県藤沢市で「公共施設再整備プラン」を学ぶ。公共施設マネジメント白書を2008年に策定。市の保有する施設の状況、施設毎の現況(利用状況、維持管理等)、施設の課題と方向性、今後の施設整備の考え方をまとめる。行政区毎に「郷土づくり推進会議」を設置し、市民目線から、経営的視点から協議検討とのこと。学ぶことの多い3日間でした。



## 「国際法上認められる自衛権」に要注意!

時々、後援会の皆さんと、宣伝カーで回りながら、街頭で訴えます。

いま、一番訴えたいことは憲法を守り活かそうということです。

悲惨な戦争をしないと誓った憲法9条は、国民から支持され70年を歩んできました。NHKの調査でも、9条が日本の平和と安全に役に立っていると答えた人が82%にのぼります。「憲法9条は守るべきだ」という声は多数です、9条を書き換えることは世論が許しません。

だから、9条を変えるのではなく、9条

の第2項の後に3項を書き加え、2項を死文化させるといふ、姑息な手を使おうとしています。どのように書き加えるのか?

例えば、「我が国の平和と安全を確保するため、国際法上認められた自衛権を行使する目的で、自衛隊を保持する」という記述です。「国際法上認められる自衛権」と書かれたとたんに、自衛隊は「普通の軍隊」となり、世界中のどこでも戦争できる自衛隊になってしまいます。

このことを多くの皆さんに知ってほしいと思えます。

